

## 競技会での使用フィガー制限についての規定変更のお知らせ

資格審議委員会 委員長 酒井 文男

チェッカー認定委員会 委員長 鈴木 孝子

チェッカー委員の認定等に関する規定の 15 条において規程されている、フィガー限定競技会において使用できるフィガーの制限が、平成 20 年 4 月以降開催の競技会より、下記のように変更になりました。指導するコーチの先生がた、出場する選手の皆さんはご注意ください。

記

### 別表第 3

第 15 条の規定フィガーは次の通りとする。

プロノービス級及びアマチュア E・F・G・ノービス級

1. フィガー限定競技会で使用できるフィガーは、財団発行の教本のうち  
ボールルーム・ダンス・テクニクとラテン・アメリカン・テクニクとする。
2. フロアークラフトを優先し、アラインメント・回転量の途中での変化については、違反としない。
3. 他の種目のフィガーは、たとえベーシック・フィガーであっても、使用できない。
4. ラテン種目において、フリーハンドは自由に使用できる。
5. ラテン種目のディベロップメントは使用できる。ワパチャタイミングについては教科書に明記されているものは使用できる。

その他のシャッセは全て使用できる。

6. フィガーの途中から他のフィガーにつなげてはならない。
7. 基本的なリズムは変えてはならない。
8. ホールドなしの状態で[4 小節]以上踊ることはできない。

ジュニア・ジュブナイルの規定は別に定める。

※ ジュニア・ジュブナイルのチェッカーは、出場者本人に直接注意を与えることは避け、親又はコーチに注意を与えるようにする。

以上

この規定は平成 20 年 4 月 1 日より適用されるものとする。

※ 関東甲信越ブロックでは平成 20 年度より適用します。

2008.1.22 ブロックセンター